

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームセンターコーナン向日	階数	地上2F
建設地	京都府向日市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年11月19日
敷地面積	11,995 m ²	作成者	福島浩平
建築面積	5,402 m ²	確認日	2021年 2月15日
延床面積	9,913 m ²	確認者	福島浩平

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (322 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (266 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82% (266 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 82% (266 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	向日市地区の景観を含む自然と親しむ環境のなかで商業の発展に取り組む。
その他	敷地が長岡京跡の埋蔵文化財包蔵地内の為、建物の基礎が文化財の地層を出来るだけ壊さないよう、大きさを必要最小限に抑え、文化財の保護に配慮した設計を行った。
Q1 室内環境	2階AW2、AW3サッシにフィルム(A-100µm以下)貼り熱負荷を低減する
Q2 サービス性能	ゆとりある天井高さとし快適性を損なわないようにした。
Q3 室外環境(敷地内)	2階建てとし建物位置を北側に寄せて周辺の景観を乱さない計画とした。
LR1 エネルギー	屋根、外壁に断熱を考慮した建材を使用し建物の熱負荷低減に配慮した。 LED照明器具を積極的に採用し電力消費量の低減に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	最小限の水廻り設備とし、器具は節水型を積極的に採用し水資源保護に配慮した。
LR3 敷地外環境	建物を公道からできるだけ離し、敷地外に開放感を与えるように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される